

# 安土産業が国内販売体制

## 塩ビ包材需要に対応

FDA認証剤 取得可塑剤 ATBC トリアセチン

化学品や天然由来原料などを扱う商社の安土産業（大阪市中央区、有岡将男代表取締役）は、米国食品医薬品局（FDA）の認証を得た可塑剤の国内供給体制を整えた。中国江蘇省の江蘇立成化学がこのほど、アセチルクロム酸トリブチル（ATBC）とトリアセチンについてFDA認証を取得。安土産業はこの2種類のFDA認証を受けた可塑剤を輸入し、日本の顧客に提供する。江蘇立成化学とは約15年にわたって取引を行っている。同社が生産する化学品を日本で毎年、一定量販売している。このネットワークを通じて安定供給を果たし、塩化ビニル樹脂製の食品包装資材にATBCを使い、たいといったニーズに答える。

安土産業は2007年7月に江蘇立成化学が製造する各種化学品の取り扱いは開始。この間、日本で同社製品の提案を進め、実績を積み重ねてきた。



江蘇立成化学とは長年の取引がある（上）。山東省の新工場が稼働、ここで作るATBCとトリアセチンもFDA認証取得を目指す

た結果、現在はトリアセチンとエチレンクリコールシアセテート（EGDA）を中心に年間5000トン程度販売している。近年、江蘇立成化学の化学品を使用する国内の顧客からFDA認証を得られた可塑剤を提供して

ほしいという声が高まってきたことから、江蘇立成化学に提案。江蘇立成化学ではATBCとトリアセチンに関してFDA認証取得に向け、作業を進めてきたが、9月下旬に取得することができた。

安土産業ではFDA認証を受けたATBCとトリアセチンを日本で提供開始する。安土産業は江蘇立成化学と信頼関係を築いているうえ、日本の4カ所に契約倉庫を有している。小ロットから大ロットまで安定的かつ迅速に供給することができ

速に供給することができ、もちろん、FDA認証品を求める新規顧客にも供給する。

江蘇立成化学は需要の増加やBCP（事業継続計画）の観点から、新たな生産拠点を立ち上げることを決断。山東省に山東立成化学を新設し、今年9月に稼働した。新工場でもATBC、トリアセチン、EGDAといった化学品を生産。2工場体制となり、ATBCの生産能力は従来比増の年3万ト、トリアセチンは同6倍の年4万800

0トとそれぞれ大幅に拡大した。山東立成化学でもATBC、トリアセチンについてはFDA認証取得に向けた作業に取りかかっている。安土産業では認証を得られれば、山東立成化学で作るATBC、トリアセチンも輸入するとしている。

また安土産業はこのほど、江蘇立成化学と日本での独占販売契約を締結した。2種類のFDA認証可塑剤を含め今後、日本で販売する江蘇立成化学の化学品は安土産業が担うことになる。